

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2018年10月15日

東京都作業部会確認年月日 2018年12月12日

(契約変更に伴う再確認年月日 2021年7月14日)

事業名 競技運営用インカム、ギャップケーブル

案件名 DIVA ネットワークサービスの調達

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	合意のとおり、本件については、組織委員会・国・都が分担することとなっている。	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	合意のとおり、大会用システムの整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっている。	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	開催都市契約及びオリンピックゲームズガイドにおいて定められている。 (2021年6月30日 契約変更に伴う追記) OBS、IF、Omega の東京 2020 大会要件を満たすために過去大会からの追加措置が必要となった。	<ul style="list-style-type: none"> ・ HCC64.Technoklogy ・ OGG-TEC 3.1.6
	本件は、IOC と共同で、規模の検証、サービス統合を行い、コストおよび運用上適切な仕様としている。 (2021年6月30日 契約変更に伴う追記) 東京 2020 大会での要件追加に対応できる設計とし、追加要件に対しても最小限の機材追加で取り込める形としている。	

	納 得 性	<p>本件は、総合評価方式による入札を行い、過去大会に対しても、サービス統合による効率化が図れていると考えている。</p> <p>(2021年6月30日 契約変更に伴う追記)</p> <p>機材単価に関しても、入札時の割引単価を用いるとともに、総額での価格交渉を実施し、追加費用を最小限としている。</p>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<p>本件は、平成29年5月31日の合意に基づき、公費負担の対象としているものであり、適切である。</p> <p>(2021年6月30日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約予定価格はV5予算内であることを確認している。 ・ 引き続き、経費が最小限のものとなるよう抑制・削減に取り組む。 		

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。